

# ほっとニュース

第44号

新緑の季節を迎えました。陽の光、若葉の青さがまぶしいさわやかな今日この頃です。その一方で、この木の芽時に体調を崩される方も多いようです。みなさまもどうぞお気をつけください。

さて新年度があけて約2ヶ月がたち、みなさまの間でも新たな計画がスタートしているのではないのでしょうか。実はPASネットでも、新規助成金事業の実施、各種研修企画の検討など、新たな取り組みが始まっています。今回、また次回以降の「ほっとニュース」のなかで、順次ご報告・宣伝？していきたいと思いますので、よろしく願いいたします。それとひとつお知らせです。これまで毎月第4火曜日の夜にPASネットが行ってまいりました「定例事例検討会」ですが、昨年度末をもって終了させていただきました。これまでご参加いただいたみなさま、本当にありがとうございました。今後は新たなバージョンでの勉強会や会員間の交流の場を設ける予定にしておりますので、そちらのほうにご参加くださいますようお願い申し上げます。またみなさまのなかで、「こんなことを勉強したい!!」というような要望・企画等がございましたら、PASネットまで是非お寄せ下さい。お待ちいたしております。

## 1、平成19年度厚生労働省障害者自立支援調査研究プロジェクト報告

これまでこの「ほっとニュース」でもたびたびご報告して参りましたが、PASネットが取り組みました厚生労働省障害者自立支援調査研究プロジェクト「地域における障害者・高齢者・児童の一元的・継続的な権利擁護支援システム構築に関する調査研究事業」が無事終了いたしました。この事業では「地域における障害者・高齢者・児童の一元的・継続的な権利擁護支援システム構築に関するアンケート調査」のほか、「権利擁護専門相談」、「システム検討型事例検討会」、そして「権利擁護支援フォーラム」を実施しました。この3月末にはこれらの調査結果や事業の成果、さらに地域における権利擁護システム構築に関する提言を盛りこんで一冊の報告書にまとめています。また2月23日に行いました権利擁護支援フォーラムの際に上映したDVD「地域ですすめよう権利擁護支援」にフォーラムの様様を追加収録したものを、完成版DVDとして作成しました。このDVDは西宮

市における権利擁護支援の状況、各担当機関や法律・福祉専門職の取り組み、さらに権利擁護支援システム構築に向けての動き等をわかりやすく紹介したもので、おかげさまで各方面からご好評をいただいております。

このプロジェクトにご協力いただいた西宮市及び各関係機関、そして市民のみなさま、本当にありがとうございました。この取り組みが今後、西宮市、また各地で権利擁護支援システムの構築に繋がっていくことを願っています。

なお、PASネットでは、この報告書を再編集したものを1部1000円で販売しております。ご購入いただいた方にはDVD「地域ですすめよう権利擁護支援」を無料で差し上げておりますので是非ご購入ください。購入をご希望の方はPASネットまでご連絡ください。よろしく申し上げます。

## 2、WAMNET助成金事業への取り組み

今年度、PASネットでは独立行政法人福祉医療機構（通称WAMNET）より助成金をいただき、「権利擁護支援全国ネットワーク構築推進事業」を実施することになりました。近年、全国各地でPASネットのような権利擁護団体や「成年後見センター」等が立ち上がり、それぞれの地域で活動を展開しています。これまでPASネットでは各団体と個別には交流を図ってきたのですが、そのなかで全体としてのネットワーク構築の必要性を感じていました。そのネットワーク構築のきっかけ作りをPASネットで取り組みたいと考えています。現在、全国権利擁護支援ネットワーク構築に向けての「趣意書」をこれまで交流させていただいた各団体に送付して賛同と協力をお願いしており、6月には具体的な打合せに入る予定です。今回は「全国」とスケールが大きいので、実際に事業を実施するにあたっては大変なことになりそうですが、その反面とても楽しみでもあります。今後事業のなかで、みなさまにもご参加いただけるイベントも開催していく予定にしておりますので、ご期待ください。

## 3、PASネット定期総会報告

さる5月10日（土）小雨の振る寒い日でしたが、PASネットの第5回定期総会を尼崎市立すこやかプラザにて行いました。正会員の出席者9名、委任状12名、計21名で定数の過半数を超え、総会は成立いたしました。議長はPASネット正会員あり、PASネットの理事でもある迫田博幸さんに務めていただきました。2007年度の事業報告及び決算報告、そして2008年度の事業計画及び予算について、PASネット理事長である上田晴男のほうから報告・説明の後、無事みなさまから承認をいただくことができました。ありがとうございました。

総会終了の後、先にご紹介しました「地域ですすめよう権利擁護支援」完成版DVDの

上映を行い、そして今後の権利擁護支援の展開について会員間で意見交換を行いました。  
ご出席くださったみなさま、どうもありがとうございました。

#### 4、PASネット権利擁護支援活動の近況

PASネットが5月13日現在で受任している法人後見、後見監督の件数は21件となっています。穏やかに安定した生活を送っておられる方もいらっしゃいますが、高齢者の方は特に病気や体力の衰え等により突然入院という事態になってしまう方がおられます。そういった際、後見人として入院の準備や手続き、親族への対応はもちろん、すぐに在宅に戻る事が難しい場合はその後の行き先についても具体的に検討して手を打っていく必要があります。また在宅に戻るのなら、受け入れ環境の整備や福祉サービスの見直しなど一時的ですが細かな対応が必要となります。時にご本人の状況や意思、そしてまわりの環境を見極めて大きな決断をしなければならないこともあり、判断を誤らないようにスタッフ間でよく検討し、スーパーバイズを受けながら後見業務を行うようにしています。

また最近では、虐待対応や触法障害者支援など、緊急に対応が必要な相談が増えています。一定の安定した状況にまで持っていくには弁護士等による法的な支援を柱に、行政・相談支援事業者等の重層的かつ密な支援が必要です。短期決戦的要素が強い「危機介入型」支援のため、個々の支援者の力量が問われるとともに支援者間が連携して対応しなければなりません。その中で状況が落ち着けば、再発防止を考えながら継続的な支援に移行していくこととなります。

最近PASネットが対応している権利擁護支援の内容はさまざま、かつ複雑化しており、PASネットのスタッフとして力量をつけていかなければならない、と感じています。

### ~ TOPIC ~

PASネットよりイベントをふたつご紹介したいと思います。ご関心のある方は是非ご参加ください。

#### 「寝屋川市民たすけあいの会30周年記念講演会&シンポジウム」

【日時】平成20年6月29日(日)13:00~16:40

【会場】寝屋川市立総合センター(中央公民館)2F講堂

##### (1) 記念講演会

「寝屋川市民たすけあいの会の30年の活動から地域福祉、市民活動の原点を考える」

上野谷加代子さん(同志社大学教授、寝屋川市民たすけあいの会前代表)

## (2) シンポジウム

「多様な市民のたすけあい、暮らしあいをつなぐ ともに生きる地域づくりをめざして」

〈コーディネーター〉

守本友美さん(皇學館大学教授・寝屋川市民たすけあいの会運営委員)

〈シンポジスト〉

佐野章二さん(有限会社ビッグイシュー日本代表)

清水明彦さん(西宮市社会福祉協議会・障害者生活支援グループグループ長)

大谷秀之さん(社会福祉法人ならのは理事長)

富田昌吾さん(寝屋川市民たすけあいの会)

定員 400名

参加費 無料(申し込み不要)

後援 寝屋川市、寝屋川市社会福祉協議会、大阪ボランティア協会

主催 寝屋川市民たすけあいの会 (担当:富田)

〒572-0061 寝屋川市長栄寺町5-1

詳細はホームページ内にてごらんください

<http://homepage3.nifty.com/neyagawatasukeai/>

## 大阪弁護士会「ひまわり」設立10周年記念シンポジウム 「どうする！？ 大阪のこれからの後見」

第三者後見人の受け皿を考えるということを基本テーマとして、専門職後見人、市民後見人などの養成や質の確保、また、後見人の中心的担い手である親族後見人の支援をどうするかなどについて、筑波大学の上山泰准教授、大阪家裁の横山光雄裁判官、田村満子社会福祉士、大阪市成年後見支援センターの藤原一男さん、ひまわりの前委員長井上計雄弁護士にパネルディスカッションで活発に議論してもらいます。

当日は、さらに、弁護士、司法書士、社会福祉士に行ったアンケート調査結果の報告もあります。専門職後見人がどのような事件を受任しており、どのようなことに悩みを持ったり、どのように対応したいと考えているか、その一端が分かると思います。

【日 時】 2008年7月5日(土) 午後0時45分～午後5時まで (その後懇親会もあります)

【場 所】 大阪弁護士会館 2階ホール

## 会員更新のお願い

今年度も引き続きPASネットの活動にご理解・ご協力いただける方は、ぜひ会員の更新をよろしくお願いたします。

正会員(個人のみ)	入会金	1万円
	年会費	1万円
支援会員	入会金	無料
	年会費(個人)	1口3千円(何口でも可)
	年会費(団体)	1口1万円(何口でも可)

### ～あとがき～

実は昨年度、PASネットのスタッフのうち私を含めた3人が業務と並行して精神保健福祉士資格取得のための学校(通信ですけど)に通ってました。「資格取れ取れ攻撃」にあって仕方なく?やり始めたわけですが、昨年秋頃からは毎週日曜日に集まってコツコツとおしゃべり、いえ勉強をしたりしてそれなりに頑張っていたのです。そして1月、「ウカール」やら「ハイレルモン」やら合格祈願お菓子を食べて望んだ試験は想定外の難問続出で3人はひどく傷つきました。さて合格発表の日。水面下で「どうよ!？」のメールが行き交うなか、3人ともなんとか合格することができました!ヤッター ただ合格はうれしいのですが、「PSWだよね～」と言われながら、難ケースをふられたりするんですよね……。なんだかはめられたような気がします。悲しい・・・(BB)